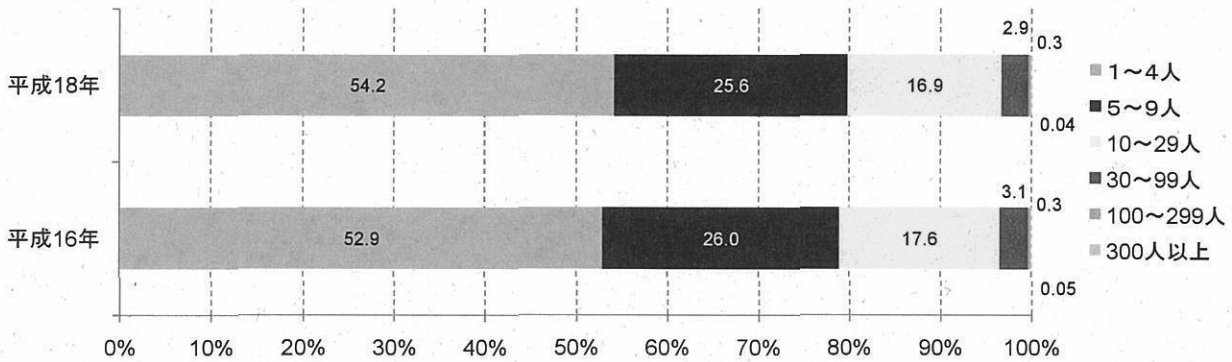


建設業事業所の従業者の規模別構成比等

建設業事業所では、従業者が5人未満が半数以上を占めており、ほとんどが300人未満の中小事業所。業種別従業者数では、総合工事業の従業者が約5割を占め、職別工事業が約2割、設備工事業が約3割。

■ 建設業事業所の従業者の規模別割合



資料：総務省「事業所・企業統計調査」

■ 業種別従業者数

(単位：千人)

区分	合計	総合工事業				職別工事業					
		土木工事	建築工事	その他	大工工事	とび土工	鉄骨鉄筋	左官工事	その他		
平成18年	4,144	2,014	772	335	907	959	90	150	96	74	549
平成16年	4,384	2,174	852	333	989	1,013	104	154	103	82	570
区分	設備工事業										
		電気工事	管工事	その他							
平成18年	1,171	407	439	325							
平成16年	1,198	422	462	314							

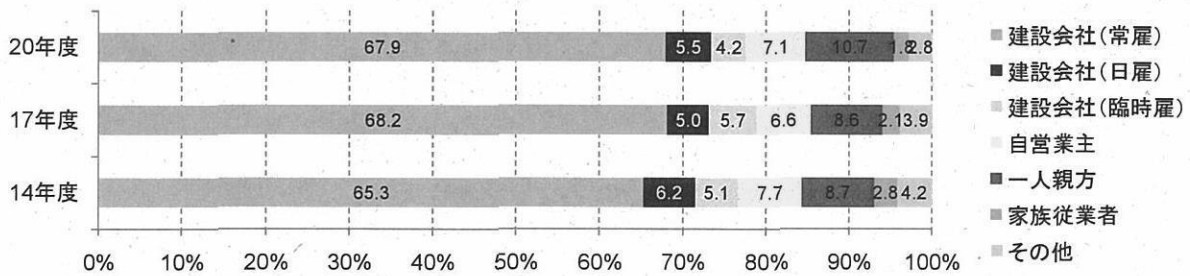
資料：総務省「事業所・企業統計調査」

「一人親方」の状況

調査対象現場における技能労働者等の従業の地位別状況をみると、「建設会社(常雇)」に次いで、「一人親方」の割合が高く、17年度よりやや増加。

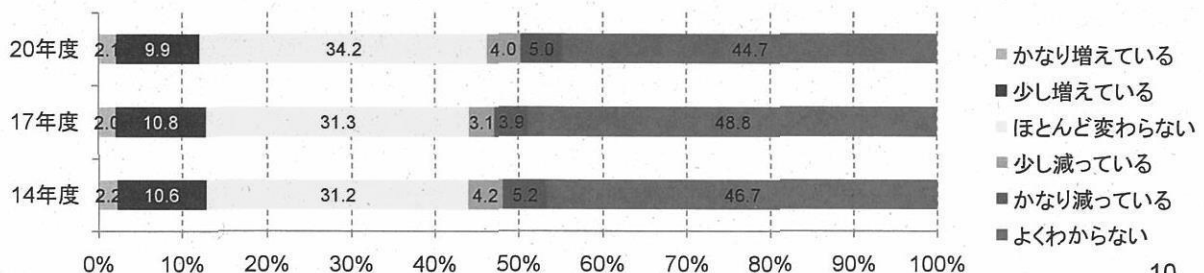
一人親方になる技能労働者の状況について、「よくわからない」を除いては、「ほとんど変わらない」が最も多い。

■ 調査対象現場における技能労働者等の従業上の地位別割合



資料：国土交通省「建設技能労働者の就労状況等に関する調査」

■ 一人親方になる技能労働者の状況

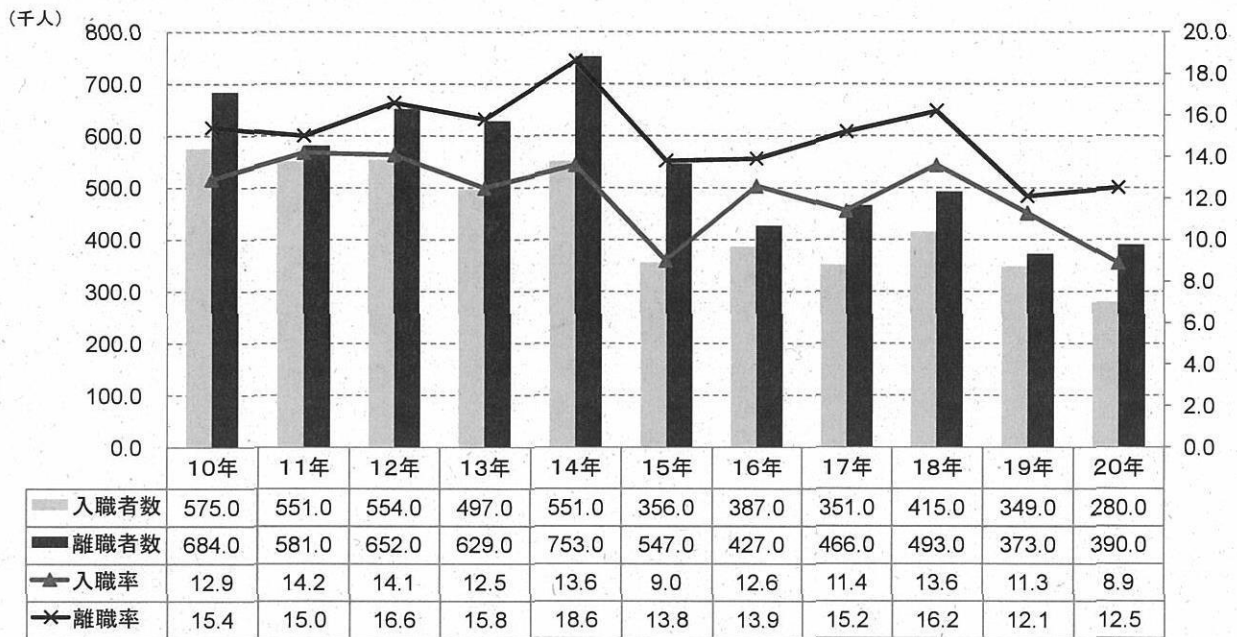


資料：国土交通省「建設技能労働者の就労状況等に関する調査」

建設業における入・離職者数の推移

建設業では、離職者数が入職者数を上回って推移しており、離職率が入職率を上回っている状況。

■ 建設業の入・離職者数の推移



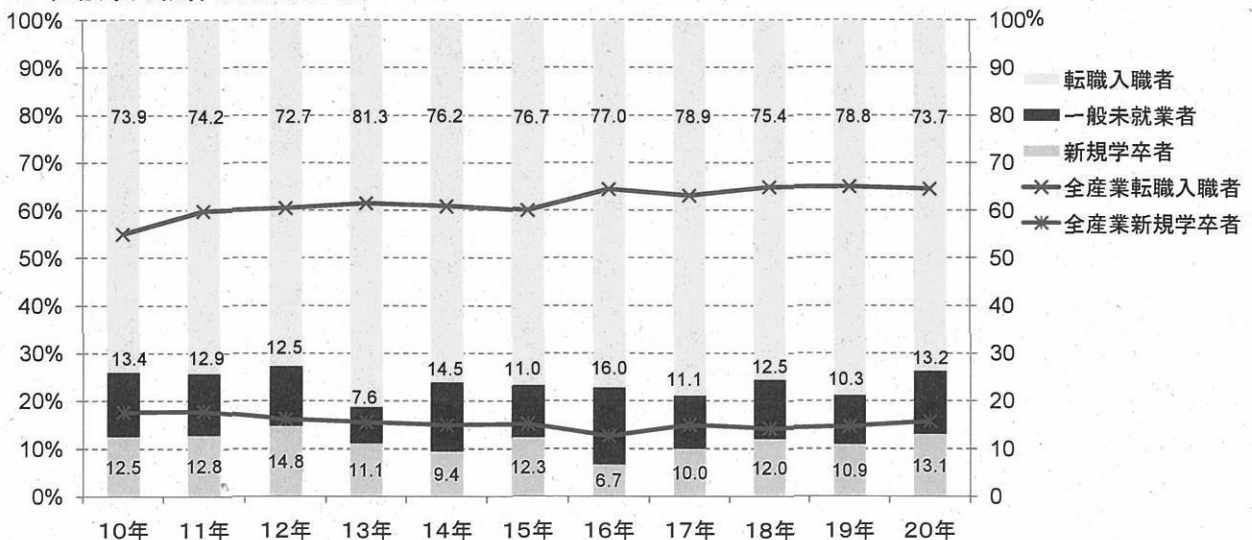
資料：厚生労働省「雇用動向調査」

注：入（離）職率＝入（離）職者数÷1月1日現在の常用労働者数×100

建設業入職者の職歴別状況

建設業入職者の8割近くを転職入職者が占めており、全産業における転職入職者の割合を上回っている一方、新規学卒者は1割程度で、全産業における新規学卒者の割合を下回っている状況。

■ 建設業入職者の職歴別状況



【全産業入職者における転職入職者及び新規学卒者の割合】

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
転職入職者	55.0	59.8	60.5	61.5	60.9	60.0	64.4	63.1	64.9	65.0	64.5
新規学卒者	17.6	17.8	16.2	15.5	15.0	15.2	12.6	15.0	14.2	14.7	15.7

資料：厚生労働省「雇用動向調査」